



# 東亞合成株式会社

2016年12月期  
第2四半期決算説明会資料

2016年8月5日

## 連結の範囲

連結子会社数 : 19社 (変更なし)

持分法適用会社数 : 2社 (変更なし)

	2015.2Q	2016.2Q	増 減	
売上高 (百万円)	70,270	66,871	△3,398	△4.8%
営業利益 (百万円)	5,887	7,273	1,386	23.5%
営業利益率	8.4%	10.9%	2.5%	—
経常利益 (百万円)	6,429	7,592	1,163	18.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	3,847	4,947	1,100	28.6%
1株当たり四半期純利益 (円)	29.22	37.58	8.36	—
第2四半期配当(年間) (円)	12.0(24.0)	13.0(26.0)	1.0(2.0)	

※当社は平成27年7月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合とする株式併合を実施しております。  
これに伴い1株当たり当期純利益および配当は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しています。

# 連結業績（部門別）

## 売上高（連結部門別）

（百万円）

	2015.2Q	2016.2Q	売上増減		
			数量差	単価差	増減額
基礎化学品	21,275	20,734	△191	△348	△540
アクリル製品	26,903	24,044	613	△3,471	△2,858
機能製品	7,724	7,683	220	△261	△41
樹脂加工製品	12,890	12,859	216	△246	△30
その他	1,477	1,548	71	0	71
合計	70,270	66,871	930	△4,329	△3,399

## 営業利益（連結部門別）

（百万円）

	2015.2Q		2016.2Q		増減
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
基礎化学品	1,561	7.3%	2,109	10.2%	548
アクリル製品	1,542	5.7%	2,246	9.3%	704
機能製品	2,100	27.2%	1,931	25.1%	△168
樹脂加工製品	640	5.0%	864	6.7%	223
その他	△1	—	78	—	79
全社・消去	45	—	43	—	△1
合計	5,887	8.4%	7,273	10.9%	1,386

（注）建材事業をアロン化成に分割承継したことにより、前期数値を機能製品セグメントから樹脂加工製品セグメントに組み替えて表示しております。

## 【営業外損益】

(百万円)

	2015.2Q	2016.2Q	増 減
受取利息・配当金	413	507	93
持分法による投資利益	180	237	56
為替差損益	17	△284	△302
固定資産賃貸料	97	61	△36
雑収入	87	47	△40
支払利息	△56	△51	5
環境整備費	△48	△70	△22
遊休設備費	△56	△49	6
雑支出	△93	△77	15
合 計	541	318	△223

## ・持分法利益

(百万円)

	2015.2Q	2016.2Q	差 異
エルマース・トウアコウセイ	157	209	52
中 部 液 酸	23	27	4
合 計	180	237	56

## 【特別損益】

(百万円)

	2015.2Q	2016.2Q	増 減
補助金収入	115	10	△104
固定資産処分損	△197	△176	20
そ の 他	4	△5	△9
合 計	△77	△171	△93

## ・補助金収入

設備投資に対する自治体等からの補助金収入

16年:アロン ロボット介護機器

## ・固定資産処分損

16年: 大分 タンクヤード改造に係る撤去

横浜 易溶性酸化銅一部設備停止

## ・為替レート

(円/US\$)

2015年6月末	2015年12月末	2016年6月末
122.45	120.61	102.91

(百万円)

	2015.12	2016.6	増 減
現 預 金	15,969	20,862	4,893
売 掛 債 権	38,699	37,805	△893
有 価 証 券 ①	41,000	42,000	1,000
棚 卸 資 産	16,037	14,706	△1,330
そ の 他 流 動 資 産	1,729	1,709	△19
固 定 資 産	63,505	62,082	△1,423
投 資 有 価 証 券 ②	27,344	22,268	△5,075
そ の 他 固 定 資 産	3,733	3,722	△11
資 産 合 計	208,018	205,157	△2,860
支 払 債 務	13,140	13,520	380
借 入 債 務	12,693	12,386	△306
未 払 法 人 税 等	2,376	1,993	△382
そ の 他 負 債 合 計	16,787	15,507	△1,279
負 債 合 計	44,997	43,408	△1,589
純 資 産 合 計 ③	163,020	161,749	△1,271
負 債 ・ 純 資 産 合 計	208,018	205,157	△2,860

## 【貸借対照表】

- ①留保資金の一部を有価証券で保有
- ②③株式市況の悪化により投資有価証券の時価評価額が減少
- ③利益剰余金 3,367百万円増加

## キャッシュフローの状況

(百万円)

	2015.2Q	2016.2Q	増 減
営 業 C F	14,088	12,744	△1,344
投 資 C F	△2,895	△13,371	△10,476
F C F	11,193	△627	△11,820

投資C F：定期預金・譲渡性預金増加

（百万円）

	会社名	部門	持分 (%)	売上高		営業利益		四半期純利益	
				15/2Q	16/2Q	15/2Q	16/2Q	15/2Q	16/2Q
1	東亜テクノガス	基礎化学品	100	2,164	2,224	165	266	116	187
2	(大分ケミカル)	アクリル製品	91.15	5,665	4,913	24	91	△29	△43
3	トウアコウセイシンガポール	↓	100	4,288	3,387	△557	△70	△595	△24
4	MTアクアポリマー	↓	51	5,083	4,948	526	547	342	363
5	台湾東亜合成	↓	100	447	420	33	31	29	21
6	東昌化学	↓	51	688	543	21	45	17	45
7	張家港東亜迪愛生化学	↓	60	900	759	96	67	76	61
8	トウアコウセイアメリカ	機能製品	100	1,455	1,508	190	212	159	201
9	(アロン包装)	↓	100	106	128	△1	△8	△1	△8
10	東亜合成香港	↓	100	186	158	30	27	25	22
11	東亜合成珠海	↓	100	195	176	33	32	22	23
12	(MTエチレンカーボネート)	↓	90	175	234	1	1	1	1
13	アロン化成	樹脂加工	100	12,049	12,860	560	942	336	549
14	ミクニプラスチック	↓	100	60	-	1	-	△1	-
15	東亜興業	その他	100	537	527	3	△3	3	0
16	TOAエンジニアリング	↓	100	-	-	-	-	△3	-
17	東亜ビジネスアソシエ	↓	100	493	512	13	24	8	16
18	TGコーポレーション	↓	100	5,953	5,797	157	167	101	112
19	(東亜物流)	↓	100	2,555	2,469	24	27	13	14
20	(四国東亜物流)	↓	70	516	528	3	1	2	1
21	(北陸東亜物流)	↓	90	115	112	1	1	0	1
	単純合計			43,630	42,203	1,323	2,400	621	1,542

( )の会社は、ほぼ全量が当社との取引

(百万円)

	2015年間実績(A)	2016上期実績	2016下期予想	2016年間予想(B)	増減(B-A)
売上高	139,848	66,871	70,129	137,000	△2,848
営業利益	12,347	7,273	7,727	15,000	2,653
営業利益率	8.8%	10.9%	11.0%	10.9%	2.1%
営業外損益	853	318	681	1,000	147
経常利益	13,201	7,592	8,408	16,000	2,799
特別損益	△1,338	△171	△228	△400	938
税前利益 (a)	11,863	7,420	8,180	15,600	3,737
法人税等及び同調整額 (b)	4,772	2,253	2,847	5,100	328
税負担率 (b)/(a)	40.2%			32.7%	△7.5%
非支配株主に帰属する 四半期純利益	394	219	281	500	106
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,696	4,947	5,053	10,000	3,304
< 参考 >					
為替レート (円/US\$)	¥120.79	¥114.03	¥100.00		
ナフサ価格 (円/kl)	¥45,975	¥32,950	¥34,000		

(注) ナフサ：kl当たり1千円の変動で±300百万円。為替：1円/USDの円安で△20百万円。

## 売上高

（百万円）

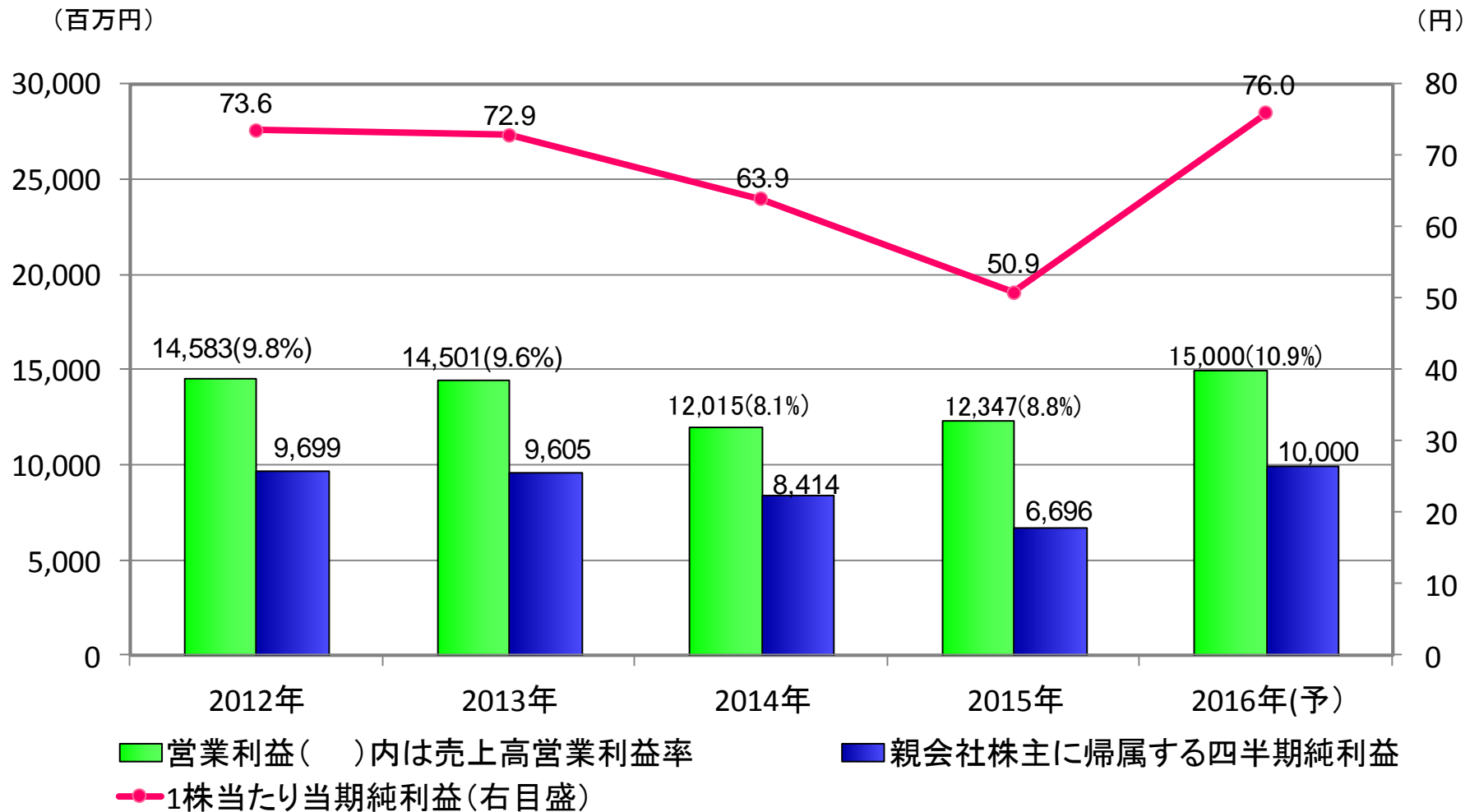
	2015年実績	2016年予想	増 減	増減要因
基礎化学品	42,458	41,900	△558	[増収]液化塩化水素 [減収]苛性ソーダ
アクリル製品	52,039	49,200	△2,839	[増収]ポリマー [減収]アクリル酸エステル
機能製品	15,410	16,100	690	[増収]接着剤、無機機能材料、エレクトロクス材料
樹脂加工製品	26,799	26,500	△299	[増収]エラストマーコンパウンド [減収]管工機材
その他	3,142	3,300	158	
合 計	139,848	137,000	△2,848	

## 営業利益

（）内は営業利益率（百万円）

	2015年実績		2016年予想		増 減	増減要因
基礎化学品	3,368	(7.9%)	4,300	(10.3%)	932	[増益]苛性ソーダ
アクリル製品	3,210	(6.2%)	4,400	(8.9%)	1,190	[増益]アクリル酸エステル、ポリマー
機能製品	4,115	(26.7%)	4,300	(26.7%)	185	[増益]無機機能材料、エレクトロクス材料
樹脂加工製品	1,501	(5.6%)	1,900	(7.2%)	399	[増益]ライフサポート、エラストマーコンパウンド
その他	153	-	100	-	△53	
合 計	12,347	(8.8%)	15,000	(10.9%)	2,653	



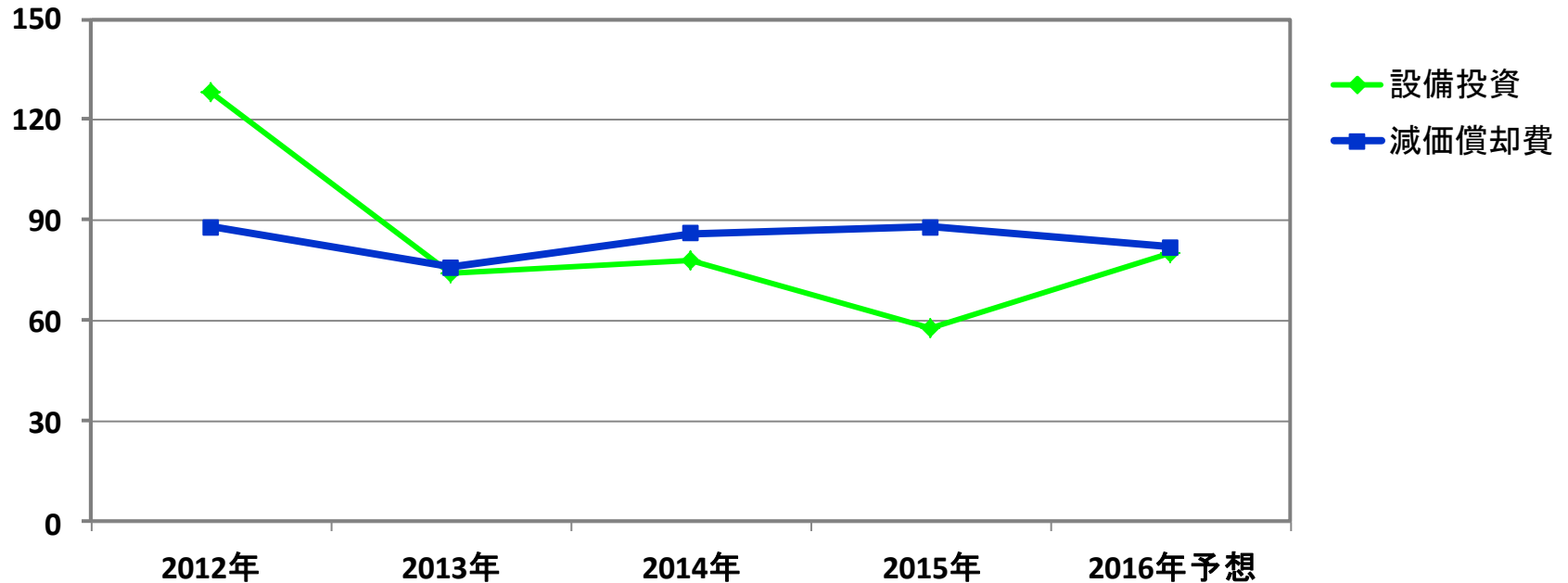


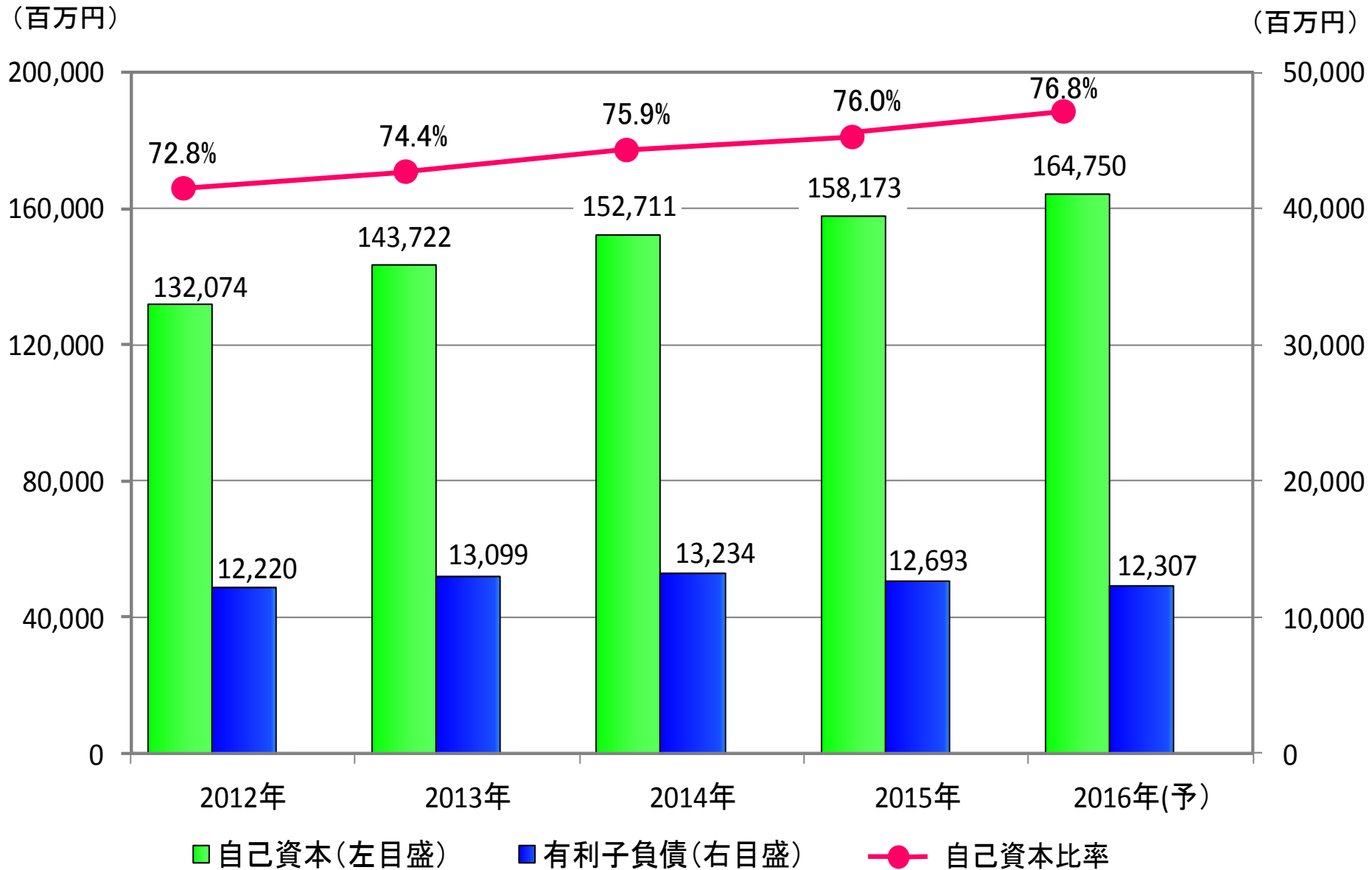
※2012年～2015年の1株当たり当期純利益は、2012年の期首に株式併合があったと仮定し、算定しています。

(億円)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年予想
減価償却費	88	76	86	88	82
設備投資	128	74	78	58	80
試験研究費	44	38	39	37	37
海外売上高	226	238	248	231	225
有利子負債	122	131	132	126	123

(億円)

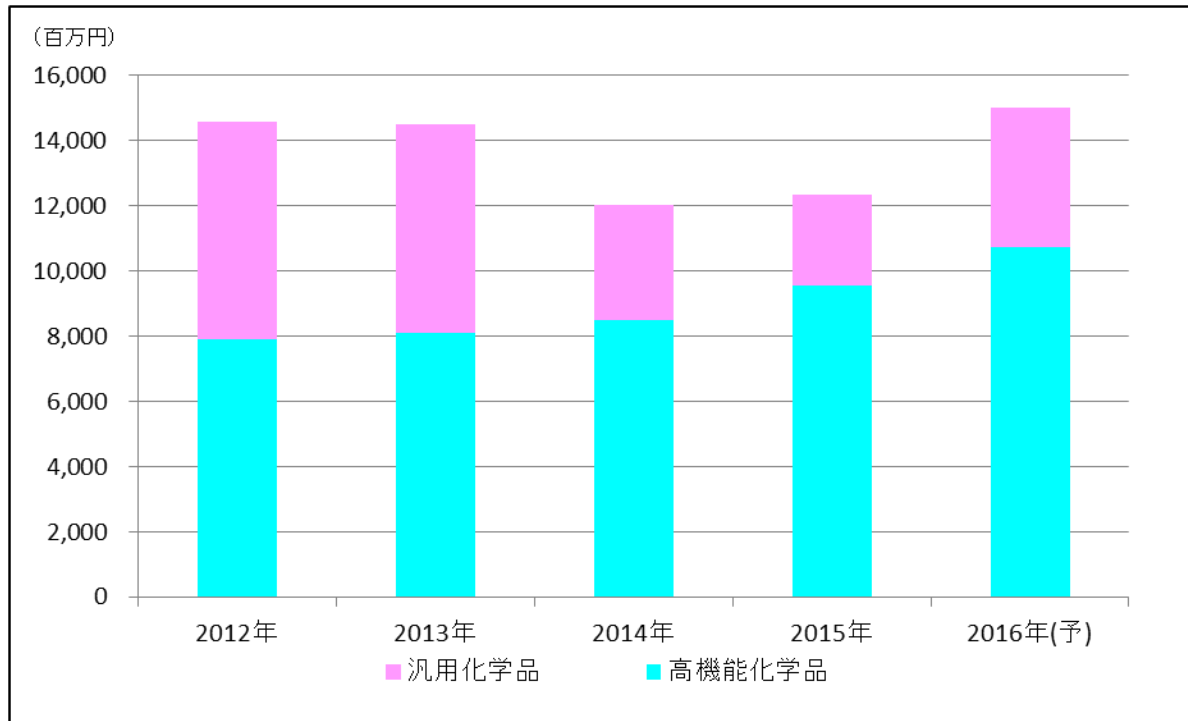




## 【当社の事業方針】

- ◆ 高機能化学品：新市場・新製品の創出による事業拡大
- ◆ 汎用化学品：合理化・最適化による収益力の向上と適正規模の維持

＜高機能化学品と汎用化学品の営業利益推移＞



## 【1】タイに水溶性ポリマーの製造・販売会社を設立

- ◆アクリル系川下製品の海外展開を加速させるため、2016年1月に「アクリル海外展開プロジェクト」を発足し、新たな拠点の検討を開始

- 【ターゲットの市場】
- ①アジア：ASEAN地域で伸長する需要のタイムリーな取り込み
  - ②北米：瞬間接着剤の事業基盤を活かしたアクリル川下製品の展開

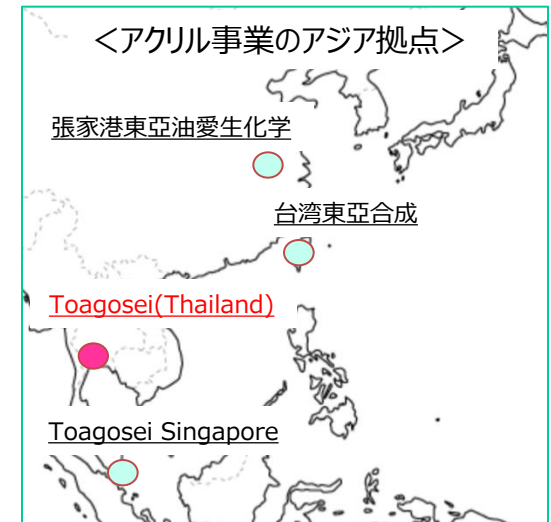


### ◆Toagosei(Thailand) Co.,Ltd.の設立を決定

- ・事業内容：水溶性ポリマーの製造・販売
- ・会社設立：2016年8月
- ・操業開始：2018年1月
- ・投資額：約30億円（第1期）

- ・更に今後、第2期計画（生產品目の拡大）を同プロジェクトにて継続して検討

⇒ 将来的に高機能・高付加価値製品のアジアの中心拠点へ



#### <水溶性ポリマーとは>

アクリル酸やアクリル酸エステルを原料とした化合物で、分散剤や粘着剤、増粘剤などの様々な用途に使用されています。



## 【2】苛性カリ電解設備の更新

### ◆名古屋工場の苛性カリ電解設備を最新設備へ更新

- ・操業開始：2017年秋
- ・投資額：約30億円

#### 【設備更新の効果】

##### ①最新の電解槽導入による効率化

- ・老朽化設備を最新の製造設備へ更新することにより、電力消費量を削減し、コスト競争力の強化を図る

##### ②苛性カリ最適生産体制の構築

- ・半導体洗浄剤向け高純度苛性カリなどの高品質品への対応をより容易にする



2016年5月に「名古屋工場電解再構築プロジェクト」を発足し、最大限の効果を検証しながら、苛性カリの設備更新を確実に実施していく

## 【3】アロン化成 管工機材事業の生産体制再構築

### ◆ 射出成型品の生産を関東工場と尾道工場の2拠点から最新設備を備える名古屋工場を加えた3拠点に拡大。塩ビパイプ設備も順次更新し、効率化を推進

- ・工事期間 : 2016年12月～2019年末 (3期に分けて実施)
- ・投資額 : 約40億円

#### 【再構築の効果】

##### ① 3工場の機能特化

- ・関東工場は大量生産品、名古屋工場は大型品、尾道工場は多品種少ロット品に特化

##### ② 生産性の向上

- ・最新鋭の射出成型生産システム導入
- ・塩ビパイプ製造ラインのリニューアルと集約化
- ・関東工場・尾道工場での自動化等の改革

##### ③ 物流効率化

- ・名古屋工場での射出成型品の生産により、顧客が多い需要地近くでの生産が可能に

工場名	現在の生産品目例	再構築後の生産品目例
関東工場	 <p>排水マス 大口径雨水マス (射出成型品)</p>	 <p>排水マス 水道用継手 (大量生産の射出成型品)</p>
名古屋工場	 <p>塩ビパイプ&amp;加工継手</p>	 <p>塩ビパイプ&amp;加工継手 マンホール 大口径雨水マス (大型の射出成型品)</p>
尾道工場	 <p>自治体向け塩ビ蓋 組立加工品</p>	 <p>自治体向け塩ビ蓋 組立加工品 (多品種少ロットの射出成型品)</p>